

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害者地域支援センター潮風の郷		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 10日	～	令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 19名
○従業員評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 2月 10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多くのご利用者様に、利用を楽しみにして頂けているようである。	まず日々楽しく過ごしていただけることを支援方針に掲げており、笑顔で過ごせることを大切に意識的にコミュニケーションをとっている。	楽しい気持ちで、より多くの体験を積めるよう、支援内容の充実に努めていきたい。
2	施設内が広く、また施設外も利根川にかけて自然豊かな環境が広がっている。	散歩や室内での歩行・体を動かす活動にも積極的に取り組んでいる。	運動の活動へ促してもなかなか参加していただけない方などにも、いろいろな形で活動できるよう柔軟に工夫していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	以前より、支援プログラムが固定しているのではないかと指摘があった。	障害特性や重さの対応に追われ、後追い支援になってしまっている。その結果、利用者様へ活動の提示をする力が弱くなってしまっている。	5領域に対応した支援プログラムの導入にあたり、根拠を持った支援を意識してバリエーションある活動に取り組んでいきたい。支援員間で創意工夫しながら新しいことにも積極的に取り組む。PDCA等の振り返りと個別の課題や取り組み状況、到達度の支援員間での共有も定期的に確認して行っていく。
2	特に、土祝長期での活動プログラムが明確でない部分がある。		
3	また、個別の課題(取り組んでほしいこと)について保護者に希望等伺っているが、計画的継続的な取り組みが不足している部分がある。	取り組んではいるが、長期的な視点から成長を見守る視野が不足している。	
4	引き続き保護者様に安心してお子様を預けて頂けるよう努力が必要。	モニタリングや送迎時に機会を設けてお話ししているものの、丁寧なコミュニケーションやきめ細やかな対応を常に心掛けて行くことが大切。保護者様の気持ちに寄り添い、気付かずに不快な気持ちにさせていないかなど、対応を顧みる姿勢を支援員間で形成していきたい。	こまめに利用者様の様子をお伝えするとともに、気軽にご相談等もして頂けるような関係を築いていきたい。Instagramを開始し活動の様子をお伝えしている。内容も見やすいよう工夫していきたい。